

銀行名	岩手銀行
タイトル	「いわて新事業創造プラットフォーム形成協議会」の取組み
取組み内容	【動機（経緯）】 （１）平成２５年１１月、震災からの復興を加速させるため、継続的な起業・創業支援を行うプラットフォームの形成を目指して、地域金融機関の当行と地元の学校法人龍澤学館および辻・本郷税理士法人が協議会を設立したもの。 （２）平成２５年度より復興庁『『新しい東北』先導モデル事業』の採択を受け、地域における起業・創業支援の体制構築を進めている。 【取組内容】 （１）平成２７年４月に起業・創業支援を目的として「いわぎん事業創造キャピタル㈱」を設立。 （２）平成２７年６月に総額１０億円となる「岩手新事業創造ファンド１号投資事業有限責任組合」を組成し、２８年３月末までに４先への出資を行った。 【取組効果】 （１）本県では初めてとなる地域金融機関、学校法人、税理士法人が連携した起業・創業支援のプラットフォームであり、地域に密着した起業・創業の支援窓口としての枠割が期待できる。 （２）本県の活動に加え首都圏等との連携により、広域での起業・創業にかかる支援が可能となり、将来の当行取引先となりうる新規事業者の発掘・育成が期待できる。

銀行名	岩手銀行
タイトル	取引先企業の海外ビジネス強化に向けた取組み（セミナー・海外視察の開催）
取組み内容	【動機（経緯）】 取引先企業の海外進出・海外ビジネス展開に対する支援体制を強化するため。 【取組内容】 （１）いわぎん「海外販路開拓セミナー」 平成２７年６月、「ジェトロによる支援プログラムと海外企業との商談の留意点」および「海外危機管理実践のポイント」についてセミナーを開催した。 （２）いわぎん「海外視察ミッション」 平成２７年１１月、第２回目となるいわぎん「海外視察ミッション」を実施。頭取を団長とした２８名の視察団を組成し、ベトナムおよび台湾の２ヵ国を訪問した。 （３）いわぎんセミナー「外国人の雇用と人事労務管理」 平成２８年２月、三井住友海上火災保険との連携により開催。在留資格・採用手続・労務管理に関する基本的な事項のほか、技能実習生にかかる法改正等の情報提供を行った。 【取組効果】 （１）海外取引および外国人雇用等に関する留意点や最新情報に直接触れる機会となった。 （２）これから海外事業への展開を検討しているとする企業に対しては、相談・検討段階から営業店を通じて、現地のマーケット情報の提供等により具体的なニーズをつかむことに繋がった。

銀行名	岩手銀行
タイトル	再生可能エネルギーの普及に向けた取組み
取組み内容	【動機（経緯）】 平成24年7月に「固定価格買取制度」が実施されて以降、マーケットが拡大した再生可能エネルギー事業を成長産業と捉え、クリーンなエネルギーである再生可能エネルギーの普及に向けた事業化支援を実施している。 【取組内容】 (1) 専門業者や事業用地の紹介などのビジネスマッチングを通じたソリューション営業を展開することで事業化を支援。 (2) 売電債権等に対する質権設定や発電設備一式を集合動産譲渡担保として取得するなど、ABL手法を活用した不動産担保に依存しないスキームの提供により事業化を支援。 (3) 当行がアレンジャーとなり東北主要地銀6行（当行、青森、秋田、七十七、山形及び東邦）で、県内の大型メガソーラー事業プロジェクトファイナンスを組成。平成27年12月から運転開始済み。 (4) 県内外の再生可能エネルギー事業向けプロジェクトファイナンスに融資金融機関として積極的に参加。 【取組効果】 (1) 再生可能エネルギー事業への進出が実現し、地域エネルギーの創出に寄与するとともに新たな収益機会を獲得。 (2) 当行にとっても、東北主要地銀をリードしてプロジェクトファイナンスを組成できるクオリティを有していることを対外的にアピールした。

銀行名	岩手銀行
タイトル	「地方創生」への取組み
取組み内容	【動機（経緯）】 平成26年12月に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、各自治体において地方版総合戦略の策定が求められたことを受け、金融機関として総合戦略の策定および推進に積極的に関与していくこととした。 【取組内容】 (1) いわぎん「地方創生セミナー」 平成27年7月、「小さな会社の商品開発・ブランディング化」をテーマとしてセミナーを開催した。 (2) いわぎん「販路開拓セミナー」 平成27年8月および11月に(株)ぐるなびの共催により開催。「飲食店を活用した販路の開拓について」と題して(株)ぐるなびによる講演を行った。 (3) いわぎん「EC販路開拓セミナー」 平成28年3月に楽天㈱の共催により「インターネットを活用した商取引」に関するセミナーを開催した。 (4) 「公務・地方創生室」の新設、地方創生に関する連携協定の締結 ①平成28年4月1日付で法人戦略部内に「公務・地方創生室」を新設。これにより、地方創生や公民連携など地元経済活性化に向けた取組みをさらに強化していくこととした。 ②また、総合戦略を踏まえた各自治体の具体的施策を支援するため、県内33自治体のうち18自治体と地方創生に関する連携協定を締結しており（平成28年6月末時点）、今後も順次、拡大していく。 【取組効果】 (1) 「地方創生セミナー」において、講演者が参加者の中から2社について商品開発にかかるショートコンサル（平成27年10月～平成28年3月）を実施した。 (2) 「販路開拓セミナー」において、1社がビジネスマッチング契約を締結した。 (3) 空き家と移住対策を目的として、連携協定締結先のうち2先と空き家活用・解体ローンの覚書を締結。 (4) 当行にとっても、セミナーの開催により、商品開発や販路拡大の支援に繋がった。

銀行名	岩手銀行
タイトル	「東日本大震災」からの復興支援の取組み（復興再生支援チームの活動）
取組み内容	【動機（経緯）】 （１）「復興再生支援チーム」は、東日本大震災により被害を受けたお取引先に対して、当行グループの総力を結集し、商材斡旋や販路紹介、事業承継など様々なニーズへの対応や財務支援アドバイスなどの適切な解決策を提案し、事業再生の支援を図ることを目的に、平成２３年５月に設置。 （２）震災から５年目となる平成２７年度においても、依然、地域経済の回復感について先行きが不安視され、支援対象となるお取引先が増え続けている状況。また、その支援内容も震災直後のハード面の問題からソフト面の問題に多様化（①人口減少、販路縮小および資材・人材不足による売上減少、②資材・人件費高騰による利益減少等）。 【取組内容】 （１）平成２３年５月以降、約５年間で６３７先に対し、より一層のスピード感をもって、多様化する経営者の悩みの解決に向け、経営者と同一目線に立ち、一社一社オーダーメイド型の支援を展開した。 （２）具体的には、①再建工程表の策定支援、②資金調達・返済条件の変更・債権売却等の金融機関調整、③利子補給制度、グループ補助金制度等、国や自治体による各種復興支援策の情報提供と活用支援、④協力会社の紹介、⑤販路開拓支援、⑥機械・工場の貸与の斡旋、⑦外部専門家の紹介を行ってきた。 【取組効果】 （１）直接支援したお取引先のうち、平成２８年３月末時点で９割超が事業再開に目処がついている。 （２）その他、主な成果は次のとおり。 ①取引の正常化（ご返済を猶予しているお取引先に対する条件変更等の実施） ～１０１先 ※平成２５年３月末までの実績 ②経営計画策定完了数 ～３６６先 ③各種ファンドの取組み ～３０先 ④債権買取機構への債権売却先数 ～１６８先 ⑤債権買取機構エグジットファイナンス ～１先 ⑥三菱商事復興支援財団に対する投資先紹介 ～１１先

銀行名	岩手銀行
タイトル	低年齢層向けTV番組内金融教育ミニコーナー
取組み内容	【動機（経緯）】 当行の金融教育のうち低年齢層向けの施策として、子供向け地元TV番組「らどんぱ！」内でご当地ヒーロー「鉄神ガンライザー」が登場する金融教育ミニコーナーを実施している。 【取組内容】 （１）このコーナーは、低年齢層の学童が楽しみながら学べるよう、「鉄神ガンライザー」に登場するキャラクターが県内の小学校を訪問し、お金にまつわる豆知識的な授業を行うコーナーとなっている。 （２）番組放送 テレビ岩手 子供向け番組「らどんぱ！」 毎週日曜 朝7：00～7：30

銀行名	岩手銀行
タイトル	ネーミングライツの取得（文化・スポーツ活動への取組み）
取組み内容	【動機（経緯）】 盛岡市が施設の持続的な運営と維持管理とともに地域住民へのサービス向上と地域経済の活性化を目的に展開している「ネーミングライツ事業」の趣旨に賛同し、同市と県内金融機関としては初となるネーミングライツ・パートナー契約を締結。 【取組内容】 （１）平成２８年２月、盛岡市が所有する「盛岡南公園球技場」に対する施設命名権者（ネーミングライツ・パートナー）として同市と契約を締結。 （２）契約概要 ①愛称 「いわぎんスタジアム」 ②契約期間 平成２８年４月１日～平成３１年３月３１日（３年間） （３）このような文化・スポーツ活動への取組みを通じて、地域の人々、特に若い世代の「こころ」を育むなど、地域の人づくり活動に積極的に取組み、地域社会の持続的な発展に貢献していく。

銀行名	岩手銀行
タイトル	赤レンガ館の公開活用（文化活動への取組み）
取組み内容	【動機（経緯）】 （１）当行では所有する国の重要文化財「岩手銀行（旧盛岡銀行）旧本店本館」の復原修理工事を平成２８年３月に完了。 （２）歴史的建造物の修復・復原により文化遺産を継承し、地域経済の発展、文化振興に貢献し、あわせて企業価値の向上と創造を図るため、施設の一般公開を決定。 【取組内容】 （１）平成２８年７月１７日、「岩手銀行赤レンガ館」としてオープン。 （２）施設を、「無料ゾーン」と「有料ゾーン」に区分し、「無料ゾーン」では多目的ホールでのイベント等を開催できるほか、「有料ゾーン」では、各種展示物やバーチャルシアターの鑑賞等を楽しむことができる。 （３）本事業のコンセプトを「赤レンガから始まる、岩手銀行の新・地域活性化計画。～歴史と文化と地域の広場～」として、地域と一体となった「施設活用プラン」を策定し具体化していくことで、地域貢献に対する取組みを活発化させていく。

赤レンガ館について

お知らせ

イベント情報

お問い合わせ



最新情報

＞ いわてアートプロジェクト2016 マグダレナ・ソレ「Since That Day 展」、高校生写真公募展

イベント

◎ 掲載:2016年09月30日

- ・ 日時:2016年9月30日(金)～10月11日(月)
- ・ 場所:多目的ホール大・小
- ・ 主催:いわてアートプロジェクト2016実行委員会

世界的に著名なマグダレナ・ソレさんの写真展と高校生の公募写真展です。

つづきを読む >

＞ 岩手銀行赤レンガ館 オープン記念イベント

イベント

◎ 掲載:2016年07月17日

- ・ 日時:2016年7月17日(日)
- ・ 場所:多目的ホール大
- ・ 主催:株式会社岩手銀行

岩手銀行主催のオープン記念イベントを行います。
イベントの内容等詳細は決定次第お知らせします。

つづきを読む >

＞ 岩手銀行赤レンガ館 オープニングセレモニーについて

イベント

◎ 掲載:2016年07月17日

- ・ 日時:2016年7月17日(日)
- ・ 場所:多目的ホール大
- ・ 主催:株式会社岩手銀行

10:00のオープンに合わせ、オープニングセレモニーを行います。

つづきを読む >

お知らせ一覧

イベント一覧



岩手銀行赤レンガ館について

岩手銀行赤レンガ館は、1911(明治44)年に盛岡銀行の本店行舎として落成し、1936(昭和11)年に岩手殖産銀行(のちの行名を岩手銀行に変更)の本店として引き継がれ、1983(昭和58)年に岩手銀行新社屋完成に伴い中ノ橋支店となりました。

設計は東京駅でも知られる、辰野・葛西建築設計事務所によるもので、辰野金吾が設計した建築としては東北地方に唯一残る作品です。

2012(平成24)年8月3日に銀行としての営業を終了し、約3年半に及ぶ保存修理工事を経て、2016(平成28)年7月15日に一般公開されました。



盛岡銀行落成式と現在の岩手銀行赤レンガ館(マウスオーバー時)

施設概要

名称	岩手銀行赤レンガ館 (正式名称:重要文化財「岩手銀行(旧盛岡銀行)旧本店本館」)
指定・区分	国指定 重要文化財(建造物)
指定理由	(一)意匠的優秀なもの (五)流派的または地方的特色において顕著なもの
指定年月日	1994(平成6)年12月27日(文部省告示第151号)
所在地	岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目2番20号
所有者・管理者名	株式会社岩手銀行
構造及び形式	煉瓦造、二階建、銅版葺
建築面積	693平方メートル



赤レンガ館について

お知らせ

イベント情報

お問い合わせ

岩手銀行赤レンガ館の歴史

明治

1908

(明治41年)

5月5日、着工



1908年 建設中

1911

(明治44年)



1911年 外観

大正

1936

(大正11年)

岩手殖産銀行が買受、同行の本店となる



1936年 外壁が白色に塗られていた

1960

(大正35年)

昭和

1983

(昭和58年)

岩手銀行が本店を新築移転。岩手銀行中ノ橋支店となる

平成

1994

(平成6年)

11月27日、現役の銀行として、初めて国の重要文化財に指定される

2012

(平成24年)

8月3日、中ノ橋支店としての営業終了



2012年 営業終了後、公開施設のために復原工事を開始

2016

(平成28年)

7月15日、岩手銀行赤レンガ館、公開施設としてリニューアルオープン



施設案内



岩手銀行ゾーン（無料）

地域や県内の産業・文化・経済活性化へ寄与するためのゾーンです。
どなたでも利用できるスペースと、近隣の方々をはじめとする多くの県民・市民がくつろぎに気軽に立ち寄れるスペースを設けています。また、イベント開催や地域交流活動等に利用できる多目的スペースも設置しています。



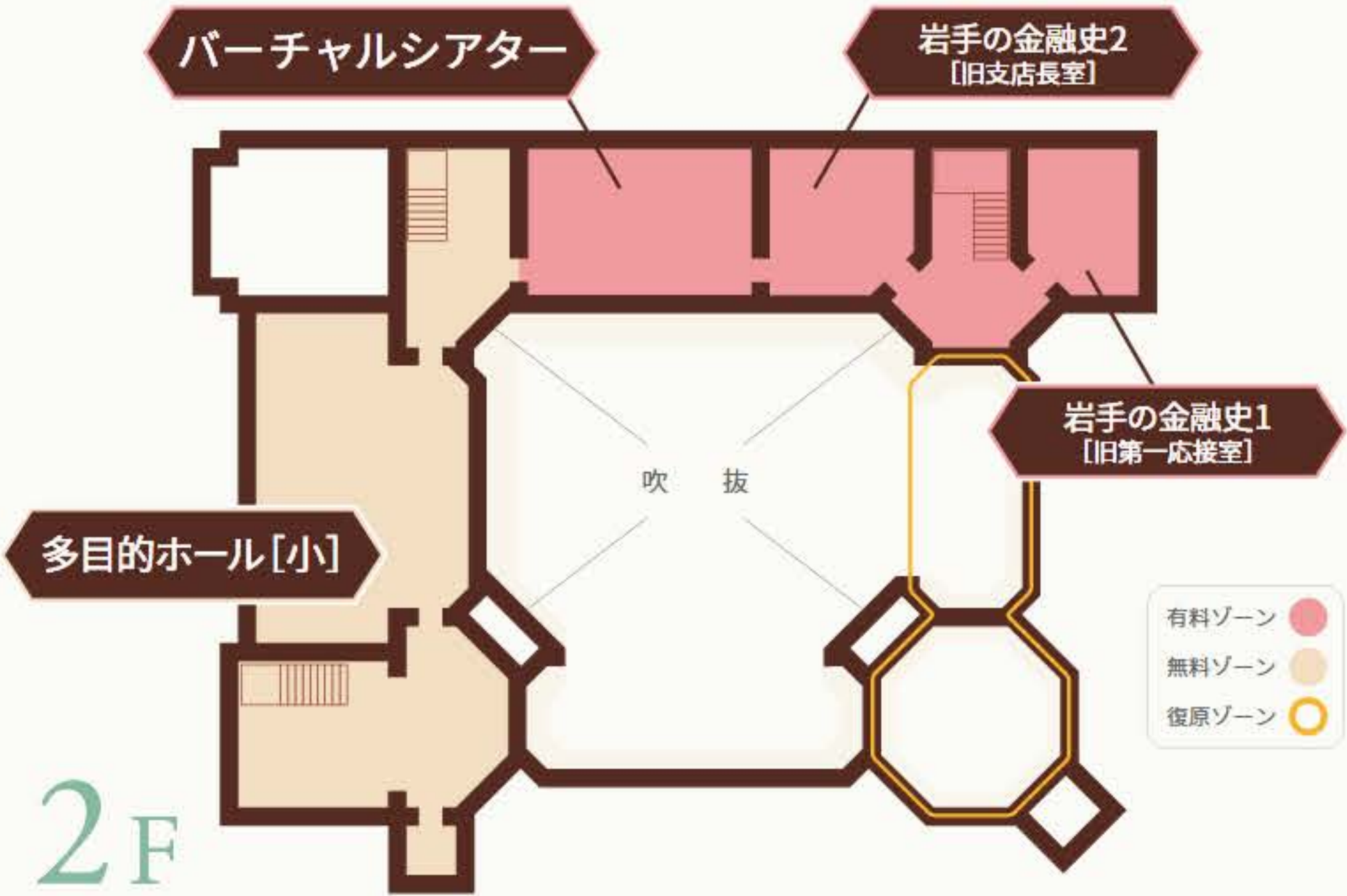
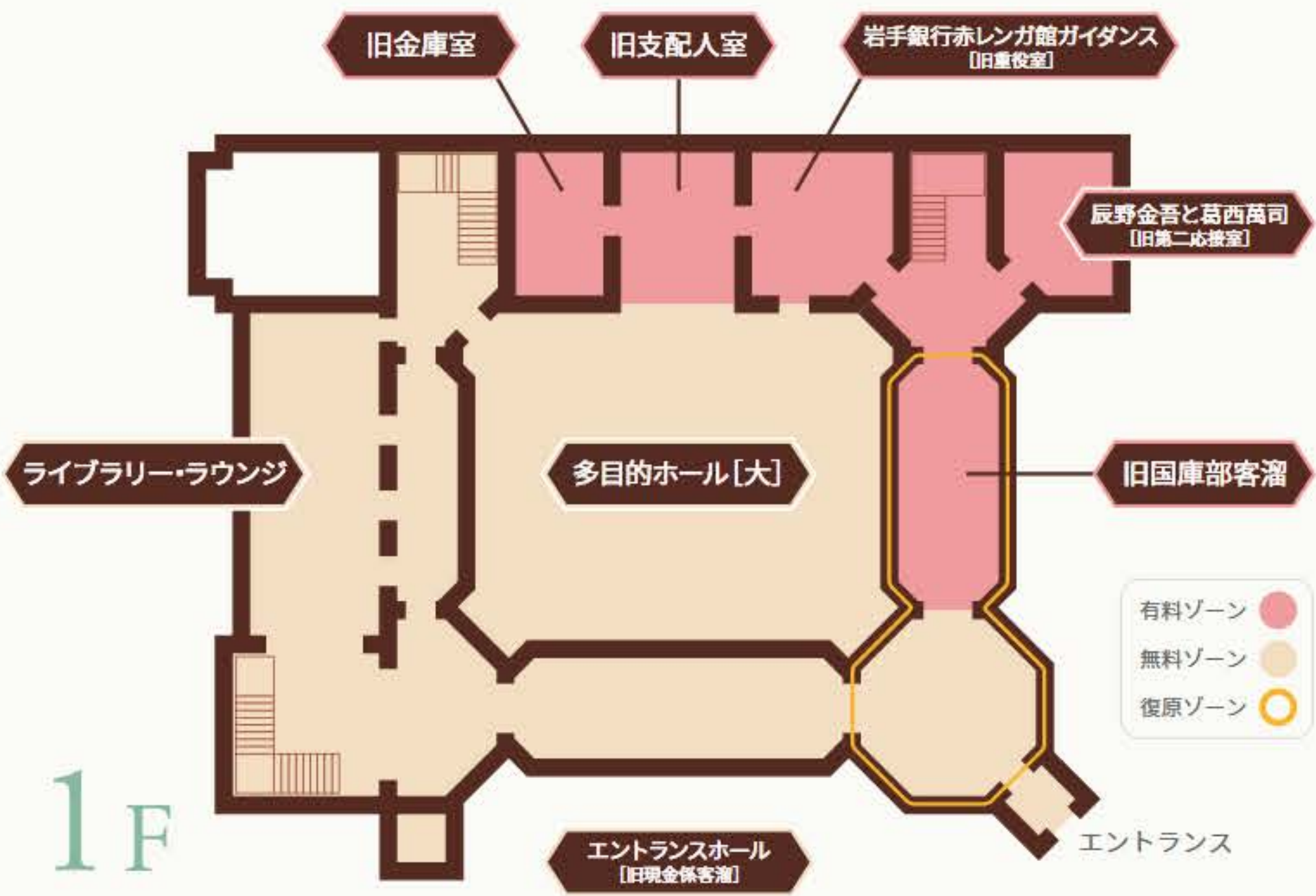
盛岡銀行ゾーン（有料）

応接室や重役室・会議室といった赤レンガの重要施設を開館当時のままに、復元したゾーンです。
当時のまま再現された内装を十分鑑賞していただきながら、解体時に発見された資料や、銀行として活躍していた当時の資料を展示しています。

※黄色い線で囲まれた部分が盛岡銀行ゾーンとなります。



フロア案内



赤レンガ館について

お知らせ

イベント情報

お問い合わせ

ご利用案内



赤レンガ館のご利用について

開館時間	10:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日	毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月3日) ※施設の設定点検・修理等でご利用頂けない場合もございます。



ご利用にあたっての注意事項

- 館内での飲食・喫煙は禁止となっております。
- 飲食場所としてのご利用はできません。
- 荷物の預かりはできませんので、ご注意ください。
- 当施設専用の駐車場はございません。近隣の駐車場をご利用ください。
- 当施設では、施設内の多目的スペースの一般貸出をおこなっております。つきましては、来館当日に当該スペースで催事等がおこなわれていることがありますので、あらかじめご了承ください。



有料ゾーン(盛岡銀行ゾーン + パーチャルシアター)

当施設の設計は、東京駅でも知られる辰野・葛西建築設計事務所によるもので、辰野金吾が設計した建築としては東北地方に唯一残る作品です。重要文化財としての価値・情報の提供や展示をはじめ、パーチャルシアターでの設計者や当施設が持つ魅力・勝ちの紹介など、多彩なプログラムを準備しております。



ご利用料金

区分	個人	団体(10人以上)
一般(16歳以上)	300円	200円
小・中学生	100円	50円
未就学児童(7歳未満)	無料	—



次に該当する方は無料で入場できます。

障がいをお持ちの方やその介護をなさる方(障がい者1人につき1人まで)
※障害者手帳の提示が必要になります。



団体利用について



申込期間

利用申請書は、利用日の6ヵ月前から申込可能です。



申込方法

「学校・団体利用申請書兼受付確認書」を当館に持参または郵送もしくはFAXをお願いいたします。

[学校・団体利用申請書\(兼受付確認書\)\[20160426版 PDF\]](#)

その他の詳細については「学校・団体利用の手引き」をご確認ください。

[学校・団体利用の手引き\[20160426版 PDF\]](#)



多目的スペース

当施設の多目的スペースは、地域の文化交流や復興、市民交流など幅広い利用に供することを目的として、事前予約制で貸出を行っております。赤レンガ館の歴史を感じる空間の皆さまのご利用をお待ちしております。

貸出スペースの概要		
名称	多目的スペース 大	多目的スペース 小
場所	1階	2階
延床面積	約155平方メートル	約51平方メートル

利用時間	利用料金(税込)	
	多目的スペース 大	多目的スペース 小
午前(10:00～13:00)	3,500円	1,500円
午後(13:00～17:00)	4,000円	2,000円
全日(10:00～17:00)	8,000円	3,500円



申込みからご利用までの流れ

1 お申込み

利用申請書をご提出ください。
提出方法は、当館への持参・郵送、
FAXのみとなります。

2 承認のご連絡

利用申請書の受領後7日程度を目
途に、利用承認の可否をご連絡い
たします。
その後、利用許可書を郵送いたし
ます。

3 料金のお支払い

お支払いは銀行振込となります。
期限内に支払いが無い場合、利用
許可が取り消されますので、ご了
承ください。

4 事前打ち合わせ

ご利用前に、詳細な事前打ち合わ
せの実施をお願いいたします。
詳しくは「多目的スペースご利用
案内」の 3. 事前打ち合わせにつ
いて」をご確認ください。



申込期間

利用申請書は、利用日の3ヵ月前から14日前まで受付しております。



申込方法

- お申込みには利用申請書の申請が必要となります。
[多目的スペース利用申請書\[20160426版 PDF\]](#)
- 提出方法は、当館への持参または郵送もしくはFAXのみとなっております。電話予約は受け付けておりません。
- 利用日が重複した場合は、利用申請書を提出頂いた先着順で受け付けを行います。
- 利用申請書受領から、1週間程度で利用承認の可否をご連絡し、利用許可書を郵送いたします。



貸出施設ご利用の際のご注意

- 申請時間内で、搬入・準備・本番・撤収・現状回復を行っていただくよう、お願いいたします。
- 会場内のレイアウト変更は、利用者にて対応いただきます。
- 利用終了後には、必ず開始時のレイアウトに現状回復していただきます。
- 搬入出のスケジュールなど作業計画書は事前に提出をお願いいたします。
- 機器等の持ち込みは、利用当日にご持参いただくよう、お願いいたします。当施設においての事前預かりは行いません。
- 多数の来場者が予想される場合は、事前に警備計画書の提出をお願いいたします。
- その他の詳細については「多目的スペース ご利用案内」をご確認ください。
[多目的スペース ご利用案内\[20160426版 PDF\]](#)



赤レンガ館について	お知らせ	イベント情報	お問い合わせ
-----------	------	--------	--------



いわてアートプロジェクト2016 マグダレナ・ソレ「Since That Day 展」、高校生写真公募展

>

イベント

🕒 掲載: 2016年09月30日

- 日時: 2016年9月30日(金)～10月11日(月)
- 場所: 多目的ホール大・小
- 主催: いわてアートプロジェクト 2016実行委員会

世界的に著名なマグダレナ・ソレさんの写真展と高校生の公募写真展です。
希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の文化プログラムのひとつとして開催されます。

岩手銀行赤レンガ館 オープン 記念イベント

>

イベント

🕒 掲載: 2016年07月17日

- 日時: 2016年7月17日(日)
- 場所: 多目的ホール大
- 主催: 株式会社岩手銀行

岩手銀行主催のオープン記念イベントを行います。
イベントの内容等詳細は決定次第お知らせします。

岩手銀行赤レンガ館 オープニングセレモニーについて

>

イベント

🕒 掲載: 2016年07月17日

- 日時: 2016年7月17日(日)
- 場所: 多目的ホール大
- 主催: 株式会社岩手銀行

10:00のオープニに合わせて、オープニングセレモニーを行います。



赤レンガ館について

お知らせ

イベント情報

お問い合わせ

お問い合わせ



施設に関するお問い合わせ

📍 岩手銀行本店

☎ TEL:019-623-1111(代表)



取材・撮影に関するお問い合わせ

📷 岩手銀行 総合企画部 広報CSR室

☎ TEL:019-624-8212

📠 FAX:019-652-6751



➤ 赤レンガ館について

➤ お知らせ

➤ イベント情報

➤ イベントカレンダー

➤ よくあるご質問

➤ お問い合わせ

➤ サイトマップ

盛岡市の歴史を見つめてきたランドマークが新たに幕を開けます。

岩手銀行赤レンガ館 オープニングセレモニー・記念イベント

2016年7月17日(日)

オープニングセレモニー

- セレモニー 9時20分～45分
- 会場 1階 多目的ホール(大)

記念イベント

- 講演会・音楽会 主催：株式会社岩手銀行
協力：岩手県文化振興事業団
- 会場 1階 多目的ホール(大)

*無料イベント
*100名弱の会場です。
立見または入場制限させて頂く場合もございます。予めご了承願います。



I 講演会 13時00分～

- 講演テーマ 保存修理工事を通して改めて見出した「岩手銀行赤レンガ館」の魅力
- 講演会講師 津村 泰範

※保存修復工事に携わり、文化財の価値を検証された津村泰範氏(元文化財保存計画協会)より建物の見所などに関する講演を実施。



講師プロフィール

東京大学工学部建築学科卒業・同大学大学院修士課程修了
元(株)文化財保存計画協会主任研究員
岩手銀行旧中ノ橋支店 重要文化財保存修理工事設計に携わる
現、長岡造形大学造形学部建築・環境デザイン学科 准教授

II 音楽会 14時15分～

- 奏者・演目 ピアノ奏者 森 知英
ショパン：ノクターン第二番 変ホ長調 作品9-2 ほか
- オーボエ奏者 戸田 智子
T. ラリエ：「ヴェニスの謝肉祭」の主題による序奏と変奏曲 Op.20 ほか
(ピアノ伴奏：森 知英)



奏者プロフィール

森 知英(もり ちえ) 岩手県出身
東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修士課程修了
1989年 第8回ベートーヴェン国際ピアノコンクール第4位
1995年 第13回ショパン国際ピアノコンクールに日本ショパン協会より日本代表として派遣、デュプロマを得る



戸田 智子(とだ ともこ) 岩手県花巻市出身

2014年3月 東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了
2014年4月より、東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師(藝大フィルハーモニアオーボエ奏者)